

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	確固たる宇治ブランドの確立プロジェクト	実施期間	平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は高級茶の代名詞である宇治茶や世界遺産の平等院、宇治上神社、源氏物語など観光資源は充実しているが、リピーター率は低く、交流人口の増加が課題となっている。                      そのため、宇治茶のブランド力向上、源氏物語のまちづくりを進めるとともに、魅力的な資源の発掘、創造により宇治ブランドを確立し、宇治の魅力について情報発信していく必要がある。                      加えて、関係機関と連携のもと、「お茶の京都」に関連する事業を実施することで、宇治に新たな人の流れをつくっていく必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>「宇治茶」「源氏物語」にとどまらず、魅力的な資源の発掘、創造により宇治ブランドを確立し、人口減少による自治体間の競争にも耐えうるような確固としたものにする。                      さらに、「選ばれるまち」として交流人口を増やし、定住人口の減少に歯止めをかけるため、「住みたい思いの醸成」を実現するための施策を実施する。</p>						
	総事業費（千円）	97,252	本年度事業費（千円）	97,252	交付金額（千円）	26,079	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	宇治茶活用事業	交付対象事業	・宇治茶を活用し、宇治茶のブランド力の向上、観光誘客を図る。		・市営茶室入席者数：21,329人		
	宇治茶ブランド化事業	交付対象事業	・市内産宇治茶のブランド化等により本市のブランド力の向上を図る。		・茶各品評会出品点数 83点 ・ " 入賞点数 43点		
住民 協働 事業	源氏物語のまちづくり等事業	交付対象事業	・数々の古典文学の舞台となった本市の文化・芸能の継承・発展を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫式部文学賞：戯れ言の自由</li> <li>紫式部市民文化賞：つれづれの記</li> <li>同選考委員特別賞：この子らのために 2 宇治山城で聞いた戦争の話</li> <li>・スタンプラリー 開催日数：5日 踏破者数：17,503人</li> <li>・旅行広報雑誌等、計6媒体に宇治市源氏物語ミュージアムの広告を掲載した。</li> </ul>		
	宇治の魅力の深化事業	交付対象事業	・文化や歴史などの資源の活用による魅力向上（深化）を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業に係る用地費史跡宇治川太閤堤跡遺構再現パネル製作・設置業務委託ほか</li> <li>・（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園（Aゾーン）整備工事ほか</li> </ul>		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

住民が取り組む事業					
成果指標 ①	成果指標の目標数値	各種茶品評会入賞点数 45点		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	43点
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ②	成果指標の目標数値	各種茶品評会出品点数 85点		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	83点
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ③	成果指標の目標数値	源氏物語ミュージアム来館者数 120,000人		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	89,979人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	年度前半に大型連休がなかったこと等により誘客数が伸びなかったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	①②目標到達及び成果達成のため、今後も継続して事業を行っていく。 ③国内外から多くの利用者が訪れ、宇治茶のPR及び茶道の普及を図ることができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・全国各地から多数の来場者が訪れ、特産品のPRができ、地元産業の振興を図ることができた。また、市営茶室の利用拡大により、茶道を通じて「お茶の京都、宇治」を知っていただくきっかけとなった。 また開催にあたり各種団体との連携・協力を行なったが、今後の新たな事業でもその時の団体同士の繋がりを活用していくことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	・商店街等の取組みを通して、地域住民が地元の名産品や伝統工芸などの良さに関心を持つことができるようになるとともに、各々の事業が地域を活性化させ、地元での消費拡大の一端を担っている。			
	リーディング・モデル成果				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

広域的波及成果	・「お茶の京都」と連携することで、宇治茶のPR等の効果拡大を図ることができた。
行財政改革に資する成果	
その他の成果	・高品質な宇治茶を生産することで、市内産宇治茶の普及促進につながった。 ・遺構再現パネルの設置により、護岸の連続性やスケール感を市民等に伝えられた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生プロジェクト		実施期間	平成28年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>魅力あるまちとなるためには、市民の主體的な関わりが重要であるが、近年の少子高齢化等の進展に伴い地域コミュニティの希薄化等の解消が課題となっている。</p> <p>そのため、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがい創生により、市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、市民自らが魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治への愛着から定着促進につなげていく必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>宇治に住み続けたいという思いへとつなげるため、子供への「宇治学」のさらなる充実をはじめ、市民に宇治の魅力を再認識してもらう取組を進めるとともに、市民自らがふるさと宇治を創生するため、行政だけでなく市民参画・協働による魅力ある宇治市を実現するための施策を実施する。また、誰もがいきいきと暮らすことは、まちの活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を図り、健康寿命日本一を目指した取組を進める。</p>							
	総事業費（千円）	18,908	本年度事業費（千円）	18,908	交付金額（千円）	5,586		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	誰もがいきいきと暮らせる宇治づくり推進事業	交付対象事業	・まちの活力を生み、市民がまちに愛着を持つための取組を推進する。	・魅力発信事業実施回数 2回				
	多世代交流促進事業	交付対象事業	・多世代交流を促進し、高齢者の生きがい創設、若い世代への伝統の継承により、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。	・高齢者アカデミー受講者数：55名				
	交通環境等充実事業	交付対象事業	・交通環境を整備することで、人・物の交流を促進し、まちの活性化を図る。 ・道路の歩行者安全対策を実施するなど、安全・安心なまちづくりを推進する。	・地域での交通手段確保のための支援等を実施 明星町レインボウバスへの支援 ・区画線の設置 L=917m				
住民 協働 事業	市民参画・揺動によるふるさと宇治創生事業	交付対象事業	・市の魅力発信に取組むため、市民参画・協働によるふるさと宇治を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区まちづくり協議会パネル展の開催：1回</li> <li>うじ井戸端会議の開催：3回</li> <li>まちづくり審議会の開催：2回</li> <li>まちづくり審議会部会の開催：1回</li> <li>専門家派遣：0回</li> <li>活動費助成：3件 地区まちづくり計画印刷製本費等</li> <li>まちづくり出前講座：3回</li> <li>・防災備蓄倉庫の設置・自主防災組織の訓練費用等への補助</li> </ul>				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

住民が取り組む事業				
成果指標①	成果指標の目標数値	魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数 1回	成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	2回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	愛着醸成に向け魅力発信事業数の指標の達成等取組が進んでいる。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	自主防災組織率 72.4%	成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	71.7%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができたものの、町内会が結成されていない地域での防災力向上ができていない等の課題がある。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	高齢者アカデミー参加者数 83名	成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	55名
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	積極的に広報を行ったが、目標数値の達成には至らなかったため、募集要件の見直しを検討する。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	①継続実施することで、市民、事業者、各種団体、学校、市の連携を深め、市のさらなる魅力発信につながった。 ②自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができた。今後も自主防災組織への補助事業を実施するとともに、市職員による防災出前講座や宇治市防災訓練、地域での防災訓練等への市職員の派遣等により、自主防災組織率の上昇に努めたい。 ③高齢者アカデミーの開講により、高齢者の交流機会の創出と生きがいの促進を図ることができた。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。			
	関連事業との連携効果			
	府と市町村等との連携に資する成果			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	・住民主導による自主防災活動等の取組に支援することで、防災意識の啓発・防災体制の強化につながった。 ・宇治魅力発信をキーワードに地域の大学及び事業者との連携を進める中で、高校生主体の魅力発信イベントを開催するなど、宇治の魅力を多くの市民が実感できるように様々な世代の視点を活かした取組を展開した。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	・来たるべき超高齢社会に備えた新しい事業を開発し、団塊の世代の社会参加を促すことで、団塊の世代のニーズに対応した効率的、効果的な新たな施策の展開へつないていくことができた。
	その他の成果	

## （記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	地域経済の活性化づくりプロジェクト		実施期間	平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	東京への一極集中を是正し、本市において安定した雇用を生み出すために、地域経済の活性化を図るとともにまちとともに元気に成長する多様な企業が存続できるような新たな産業を振興する。 なお、安定した就労環境は、結婚、子育て、など自然増加を促していく要素において重要な条件であることも京都府が実施した少子化要因実態調査によって確認されていることから、本市においては安定した雇用創出を図る。							
プロジェクトの目的及び概要	本市に内在する地域資源を発掘し、磨くことで若い世代にもアピールできる魅力的な地域産業づくりに取組むとともに、就業に必要な技能等の習得を支援するなど、企業が求める人材の育成と雇用機会の拡充を図る。							
	総事業費（千円）	36,392	本年度事業費（千円）	36,392	交付金額（千円）	6,639		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	産業活性化事業	交付対象事業	・市内経済の構造を分析し、地域経済の好循環を促進する			・市内産農産物の普及促進に係る事業を実施等 市内産農産物を活用した講座を開催 4回		
	雇用促進事業	交付対象事業	・あらゆる世代・人の市域雇用の創出と拡充を促進する			・地域経済の活性化と若者の雇用支援等を実施 市内中小企業合同説明会 1回		
住民 協働 事業								
住民が 取り組む 事業								
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	新たな農産物の直売会の開催 2回			成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	2回		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				(時期)	
成 果	成果指標の目標数値	市内中小企業合同説明会の開催 1回			成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	1回		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

果 指 標 ①	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標を達成できたため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果  ※未達成の場合も効果 を記載すること	①地産地消の意識の啓発、市内産業（農業）の拡大を図ることができた。 ②市内の雇用促進を図ることができたため、今後も継続して実施していく。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果	・ 中小企業合同企業説明会開催時に、府・京都ジョブパークと共済することで、市内企業を宇治市内外にアピールし、集客することができた。				
	住民の自治意識を高める成果					
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	・ 中小企業合同企業説明会のPRを各種広報媒体・大学を通じて行った結果、府外からの求職者の集客にもつながった。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果	・ 市内産農産物を活用した講座を開催することで、地産地消の意識の啓発並びに市内産農産物の普及促進を図ることができた。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。



# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりプロジェクト	実施期間	平成28年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>京都府が実施した少子化要因実態調査によれば、本市が属する山城北地域の在住者の結婚意向は強いことが分かるが、雇用問題や出産・育児に対する不安から未婚者の増加、少産化が問題となっている。 したがって、結婚意向を後押しするような施策を用いて、宇治市で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成とそれらの実現に向けた支援を実施し、子どもが輝く未来の宇治市を築いていく必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>合計特殊出生率が低い原因は第一に未婚者が多いことの影響が強いとされ、少産化も原因のひとつとして考えられている。さらに不安定な雇用が多いことも結婚の妨げとなっていることから、結婚から子育てまでを支える体制の構築と生活の安定が必要となる。 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援と、地域で子育てを支える新しい仕組みづくりに取組むとともに、若者の安定的な雇用の確保を図り、子育てを担う若者が安心して希望する出産・育児を行うことができる環境を整備する。</p>						
	総事業費（千円）	151,706	本年度事業費（千円）	151,706	交付金額（千円）	67,900	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	結婚・出産支援事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇治で出産、育児をしたいと思える環境の整備ため、健診時に絵本の読み聞かせや遊び方を指導するとともに、年齢に応じた絵本を贈り、絵本を通して、コミュニケーションを図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>3か月児健診配布数 1,286人</li> <li>1歳8か月児健診配布数 1,347人</li> </ul>		
	子育て支援環境充実事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する相談の充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援に係る情報誌並びにメッセージカード等を配布</li> </ul>		
	保幼小中の連携教育推進事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前教育の充実と小・中学校の連携を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫教育の推進に係る体制整備を実施</li> </ul>		
	学習環境等充実事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内大学と連携した教育の実施、専門家支援チームの設置を行う。</li> <li>貧困の連鎖の防止を図ることを目的として、生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業を新たに実施するために検討委員会を設置し、検討を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育的支援を要する児童への支援体制を確保、理数系教育の底上げを図るため調査研究を実施等</li> <li>スクール・サイエンス・サポート実施校数 5校</li> <li>宇治市生活困窮世帯等の子どもの学習支援検討委員会から学習支援事業の在り方について提言を受けた委員会開催数 3回</li> </ul>		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

住民協働事業	地域等協働子育て環境充実事業	交付対象事業	・市民との協働による地域で子育てを支える仕組みづくりを構築し、安全・安心な教育・保育環境の確保のため、見回りやカメラの監視等により不審者対策等を実施する。	・児童、生徒等の安全確保を図るため地域・保護者の協力を得て支援員の配置等を実施 ・保育所等安全運営支援員の配置を、公立保育所（7園）、民間保育所・認定こども園（19園）及び分園（2園）で実施し、安全・安心な保育所等の運営を図ることができた ・小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計132名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,509回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った
住民が取り組む事業				
成果指標①	成果指標の目標数値	農業者婚活イベントの開催回数 1回	成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	1回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標を達成したため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	スクール・サイエンス・サポート実施校数 6校	成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	5校
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できたため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	①結婚意向の後押しを図ることができた。 ②理数系教育の底上げを図るため調査研究として、京都大学宇治キャンパスと連携した公開ラボ小学校2校、出張ラボ中学校3校の実施ができた。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。			
	関連事業との連携効果	・通学路危険箇所の安全対策事業を進め、通学中の児童及び一般歩行者等の安全を確保ができた。 ・3か月児健診、1歳8か月児健診の受診児を対象に絵本の配布や中央図書館の絵本ボランティアの協力による絵本の読み聞かせの実施など、親子が絵本を介して触れ合うことにより、子育てが楽しくなるきっかけを作り、健やかな親子の関係づくりを促進することができた。		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	・ 保育所等安全運営支援員に地域の有償ボランティアを活用することで、地域住民のボランティア活動への参画促進や地域の安全対策についての意識の向上を図ることができた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇治市生活困窮世帯等の子どもの学習支援検討委員会からの学習支援事業の在り方についての提言に基づき、生活困窮世帯等子どもの学習支援事業の実施に向けて準備を整えた。</li> <li>・ 教員研修や小学校の施設訪問、小中学生の理科教室など様々な取組により、児童生徒の科学に対する興味・関心や、疑問に思ったことを追及する学びの意欲などの学力向上の意識を高めることができた。</li> </ul>

## （記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	もうひとつの京都推進プロジェクト	実施期間	平成28年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。</p> <p>【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。</p> <p>【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。</p> <p>【お茶】文化や産業の衰退にもつながる、消費の減少や生産者の高齢化が進んでいる。地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。また、宿泊施設が少なく日帰り観光が可能で、魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないため、一人当たりの観光消費額が少ない。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。産業・観光を振興することを目的とする。</p>						
	総事業費（千円）	22,424	本年度事業費（千円）	22,424	交付金額（千円）	11,089	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	宇治茶ブランド化事業	交付対象事業	・市内産宇治茶のブランド化等により、本市のブランド力向上を図る。		・茶各品評会出品点数 83点 ・ " " 入賞点数 43点		
	宇治の魅力深化事業	交付対象事業	・文化や歴史などの資源の連携による魅力向上（深化）を目指す。		・（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業に係る用地費史跡宇治川太閤堤跡遺構再現パネル製作・設置業務委託ほか ・（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園（Aゾーン）整備工事ほか		
住民が 取り組む 事業							
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	源氏物語ミュージアム来館者数 120,000人		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	89,979人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	年度前半に大型連休がなかったこと等により誘客数が伸びなかったため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 宇治市

本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	①国内外から多くの利用者が訪れ、宇治茶のPR及び茶道の普及を図ることができた。	
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。	
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	・高品質な宇治茶を生産することで、市内産宇治茶の普及促進につながった。 ・遺構再現パネルの設置により、護岸の連続性やスケール感を市民等に伝えられた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。